

## 通りを華やかに演出 牛窓八朔ひなかつりとししこま作り

9月10～19日、牛窓しおまち唐琴通り(牛窓町)で、牛窓八朔ひなかつりが開催され、11日には、ししこま作り体験が行われました。

古くから牛窓には、八朔(旧暦8月1日)に、ひなを飾りししこまを供える風習が残っています。ししこまは、米粉で作った餅を色粉で彩色し、山や海の幸の形にしたもので、参加者はヘラやくしなどを使い、鯛、イカ、エビ、ミカン、ウサギなど、思い思いのししこまを作っていました。

また、牛窓しおまち唐琴通り界隈では、31カ所に飾られたひなかつりを一一つ見て回る人の姿が多く見られました。



豪華な段飾りにうっとり(左下) / 山や海の幸を形作ったししこま(右上)



## 開館1周年を迎えました 瀬戸内市立美術館



にぎわう開館1周年記念展の会場(左上) / 画伯愛飲のコーヒーと牛窓の多島美(右下)

10月1日、瀬戸内市立美術館は開館1周年を迎えました。これを記念して、開館記念日市民無料開放と一日カフェを開催し、多くの市民らが訪れました。このカフェは、佐竹徳画伯がコーヒー豆を取り寄せていた喫茶店のオーナーの協力を得て実現したものです。

記念展「阿藤秀一郎と佐竹徳展」を鑑賞した後は、牛窓の多島美を見渡しながら、佐竹徳画伯が愛飲していたコーヒーで一服。また、同日から同館3階ギャラリーで開催された「粟井文山の世界」展に足を伸ばすなど、訪れた人は「芸術の秋」のひとつを楽しんでいました。

## 地域活動の活性化を 宝くじ助成金を活用して機器整備

(財)自治総合センターの宝くじ助成金を活用し、8月31日、裳掛地区コミュニティ協議会がワイヤレスマイク、モニターテレビなどの放送機器を購入しました。文化祭などの交流事業、防災の研修会などで活用しています。また同日、邑久地区コミュニティ協議会が、ノートパソコン、コピー機、プロジェクター、冷蔵庫、掃除機などの備品を購入しました。さまざまな地域活動の推進やコミュニティ事業に役立てています。

自治会でも、宝くじ助成金を利用できます。詳しくは、まちづくり推進課へご相談ください。

■問い合わせ先 まちづくり推進課 ☎0869-22-1031



購入した機器を活用して防災の研修会を行った裳掛地区コミュニティ協議会

cover photograph



今月の  
表紙

ごみ30%減量の取り組みを子どもたちに楽しく伝えるため、瀬戸内市青年団では「エコ戦隊もってえねんジャー(表紙写真)」を結成しています。食べ残しやポイ捨てごみでパワーアップする地球ハライダーと手下たちを、ごみをリサイクルすることで追いかちます。クリスマスに向けたイベントも計画中です。

## 救急業務や応急手当をPR 今城幼稚園教諭の黒崎さん



商業店舗前で啓発活動(左下) / クイズを交えて園児らに救急業務を説明(右上)

9月6日、市消防本部では救急業務に対する市民の理解を深め、応急手当の普及啓発を行うことを目的とした「救急の日」の事業として、今城幼稚園教諭の黒崎香織さんに、一日救急隊長を委嘱しました。黒崎さんは消防本部で救急技術訓練を見学した後、今城幼稚園でクイズを交えながら救急業務について説明し、園児らの理解を深めました。また園児らと救急車を見学し、消防本部職員から機器の名称や使い方の説明を受けました。その後、市内の商業店舗に移動し、買い物客らに応急手当のパンフレットなどを配布して啓発活動を行いました。

## Tシャツの藍染めに挑戦 長船町公民館「わくわくチャレンジ」

9月17日、長船町公民館で「わくわくチャレンジ」の一環として藍染め講座を行いました。

市内の子どもたちと保護者ら21人は持ち寄ったTシャツなどを手に、染めない部分で模様を作るため、生地の一部をつまんで輪ゴムやナイロンテープを使ってしばり、染色液につけました。

「1回目の染色はしわを伸ばして丁寧に」と講師から助言を受け、慎重に染色を行いました。生地をしぼって染料が空気に触れると酸化作用により、緑色から藍色に変化。最後は水洗いをしてTシャツを広げ、参加者たちは笑顔で染め具合を確認していました。



講師から説明を受ける参加者(左上) / 藍色に染まったTシャツを手に記念撮影(右下)

※HPにカラー版あり



まちの  
話題



問 政策調整課 : 0869-22-1113